

## おかしいぞ、秦郁彦、岡本行夫、森本敏

渡部昇一、加藤寛、唐津一、曾野綾子、竹村健一、猪木正道、塚屋太一、西部邁、上坂冬子、西尾幹二、岡崎久彦、田久保忠衛、江藤淳、三浦朱門、石原慎太郎、小堀桂一郎、屋山太郎、中西輝政、中嶋嶺雄、森本敏、藤岡信勝、佐々淳行、佐伯啓思。(以下全て敬称略)

そうそうたる保守派論客のオンパレードですね。それもそのはず、これは産経新聞社が昭和60年から「日本の進路を考える論壇」という正論の基本理念に共鳴し、傑出した言論活動を展開させた個人(団体)に贈っている「正論大賞」の受賞者一覧です。日本の保守論壇をリードするオピニオンリーダーといっても過言ではないと思います。私も高い信頼を寄せています。

個人的な感想を言わせて貰えば、何で櫻井よしこ、金美麗の両氏、そして小林よしのり一あれだけ批判すれば無理か(^^;一が入っていないのか。やたら難解な言葉を使って言いたいことが理解できない元左翼の西部、功績は認めるけど大嫌いなハゲ頭、等々いろいろあるのですが、それは別の機会に譲るとして、今回は例の田母神論文で是非言いたいことがあります。

ズバリ！、**秦郁彦、岡本行夫、森本敏**。この三人には本当にガッカリした、失望した、そして怒りをもちました。それぞれ輝くような経歴と実績を持ち、いまでも現役の評論活動では高い評価を得ている三人だと思いますが、正直言ってテレビでの発言や新聞での評論を見ていると、これでは左翼マスコミ御用達で立派に務まると感じました。



後楽園、東京ドームのクリスマスイルミネーションも綺麗です。

特に、秦郁彦は11月28日の「朝まで生テレビ」(VTR出演)で、森本敏は12月5日の産経正論で、満州事変のきっかけとされる張作霖爆破事件は関東軍の暴走によるものと史実は確定している旨を言い切っています。オイオイ、誰が確定したの？。これでは田原総一郎や田岡俊次を喜ばせるだけではないですか。

## 何故、新しい歴史資料を無視するのか？

この満州軍の仕業というのは戦後支配してきた自虐史観そのもので、そこからいまでも一歩も踏み出していないということは、新しく明らかになった資料を勉強不足で知らないか、知っていて価値がないと判断しているか、無視しているかのいずれかでしょう。

この「関東軍の仕業」と主張する人の共通点は、VENONA文書、GRU帝国、マオ、ミトローヒン文書という近年になって公開されたり出版された非常に重要な文書に言及していないか、価値がないとして頭から否定しているという事実です。逆に保守派の論客ほど熱心にこうした文書を徹底的に研究しているのです。

私の11月22日と23日のエントリー、小堀桂一郎氏と中西輝政氏の対談「歴史の書き換えが始まった—コミンテルンと昭和史の真相」はその新資料を踏まえて上での内容です。その中西氏ですら次のように非常に慎重に公平な意見を述べています。

>したがって河本はじめ関東軍が単独でやったという解釈は、少なくとも白紙から再検討しなければならない。あとほんの少し事実が出て来たら完全にはっきりすると思います。百歩譲って申し上げても、現段階では関東軍の仕業と決めつけるわけにはゆかずに「諸説ある」、というべきでしょう。<

どうでしょうか。明らかになりつつある新資料には言及もしないで「関東軍の仕業」と決めつける左翼及びそれに類する評論家と、新資料を研究しつくした上で「諸説ある」という謙虚な姿勢の中西氏。貴方ならどちらの主張を信じますか？。ちなみに、あの田母神論文ですら決めつけてはいないのです。

>1928年の張作霖列車爆破事件も関東軍の仕業であると長い間言われてきたが、近年ではソ連情報機関の資料が発掘され、少なくとも日本軍がやったとは断定できなくなった。「マオ(誰も知らなかった毛沢東)(ユン・チアン、講談社)」、「黄文雄の大東亜戦争肯定論(黄文雄、ワック出版)」及び「日本よ、「歴史力」を磨け(櫻井よしこ編、文藝春秋)」などによると、最近ではコミンテルンの仕業という説が極めて有力になってきている。<

左翼にとっては余程核心をつかれて心理的ダメージが大きかったのでしょう。冷静な反論ではなく、感情的なパッシングの様相を呈していました。しかし愉快ですね。「私は日本はよい国だと言ったらクビになった」なんて(^ ^)。たしか本日が例の授賞式だった筈ですが(賞金は辞退)、また胸のすくような挨拶をしたのだと思います。頑張れ！、田母神俊雄。

カテゴリ: [コラむ](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(16\)](#)

タグ: [秦郁彦](#) [岡本行夫](#) [森本敏](#) [田母神俊雄](#) [正論大賞](#) [張作霖列車爆破事件](#) [小堀桂一郎](#) [中西輝政](#)

コメント(16)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [花うさぎさん](#)  
・追記1 教科書としてふさわしい

2008/12/09 07:28

>筆者は現職の自衛隊員を含む、若い世代の学生・社会人の団体に請はれて、大東亜戦争の原因・経過を主軸とする現代史の講義を行ふ機会をよく持つのだが、これからはその様な折に、この田母神論文こそ教科書として使ふのにつけてついでであると即座に思いついたほどである。

11月6日に掲載された東京大学名誉教授・小堀桂一郎氏の「空幕長更迭事件と政府の姿勢」の正論で、このように激賞してます。さすがは小堀氏だと思いました。



Commented by [iz-keiai2727さん](#)

2008/12/09 11:10

田母神論文に対する「森本敏氏」の反論は、今までの言動からして、意外に感じ、何か可笑しいと思っています。

また、[岡本行夫氏](#)に関しては、以前、橋本元首相時に政府の諮問委員？の時、頻繁にテレビ等で、発言をしていました。

しかし、その頃は、余り、政治、外交には興味はありませんでしたが、近年、歴史認識をめぐって、[中国共産党](#)国家との反日運動が頻繁に成った時、この、雄弁家の[岡本行夫氏](#)は[中国](#)に対し、今後の中国は日本に取って、怖い存在になると、[中国](#)に対し拒否反応を示さず、どちらかと言うと、日本は中国と仲良くして行かなければなら無いと、[中国](#)擁護に必死でした。

その後、中国のマスコミとの議論でも、すべて、[中国](#)様様的な、発言で、日本は[中国](#)無しでは生きて行けないと全く中国べったりです。

こんな人間の意見を聞いていたら、日本は、中国の植民地国家と成る事を、選べと言っている様な、情け無い評論家に過ぎない事が、ハッキリしてきたと思っています。

[岡本行夫氏](#)(非国民又は、売国奴？)の発言は全く価値なしというべきだと、悟ったしいです。



Commented by **花うさぎさん**  
To iz-keiai2727さん こんにちは。

2008/12/09 12:00

>「森本敏氏」の反論は、今までの言動からして、意外に感じ、何か可笑しいと思っています。

自分の教え子が自分を越えた論文を発表したので面白くないのでは？。

>その後、中国のマスコミとの議論でも、すべて、中国様様な、発言で、日本は中国無しでは生きて行けないと全く中国べったりです。

私もこの人は保守系だと思ってましたが、明らかに違いますね。正論のメンバーから外すべきでしょう。



Commented by **八目山人さん**

2008/12/09 19:07

ユン・チアンのワイルド・スワンを一寸立ち読みした事が有ります。

その中に、満州国の小学校の校長先生が、満人(シナ人?)の生徒に、中国人を棒に縛り付けた上犬に食い殺させる映画を見せて脅した、と言う事が書いてありました。当時満州に住んでいた母に「そんな事はあったと思うか」と聞いたら、「絶対にそんな事は無い」と言っていました。

ユン・チアンは所詮シナ人です。信用できません。

自分に都合の良いことが書いてあるからと言って、それを引用先とするのはいかがかと思ひます。(マオは読んでいませんが、小説ではないのですか。)

VENONA文書などが完全に公開され、はっきりするとよいと思ひます。



Commented by **花うさぎさん**  
To 八目山人さん こんばんは。

2008/12/09 20:15

>ユン・チアンは所詮シナ人です。信用できません。

貴方のご意見として聞いておきます。上記のVENONA文書、GRU帝国、マオ、ミトローヒン文書のうち、和訳されて出版されているのは「マオ」だけで、他の三冊については余程探求心がないと歴史家でもなかなか読破出来ないでしょう。

唯一、和訳されている「マオ」ですが、これはユン・チアンとジョン・ハリデイの共著として講談社から2005年に出版されベストセラーとなりました。毛沢東は中華人民共和国を建国して以来、自国民を8000万人も殺したことは著名ですが、いまでも支那中共は彼を建国の父として最大限の評価をしています。

「マオ」はこの毛沢東神話を綿密な取材と研究で打ち砕き、残忍な独裁者としての実像を浮かび上がらせた書であり、小説などではありません。最近、日本人に帰化した石平さんをその言動から私は評価しますが、同じ視点でマオは注目に値すると思ひます。

張作霖爆殺の部分の記述はGRU帝国などの機密資料に基づいた記述であり、だからこそ多くの知識人評論家が注目したのです。

>自分に都合の良いことが書いてあるからと言って、それを引用先とするのはいかがかと思ひます。

まずは呼んでみて下さい。上巻、下巻の二冊、合計4400円と効果ですが図書館でも借りられる筈です。私は「記述の信頼性は高い」と受け止めました。



Commented by **故郷求めてさん**

2008/12/09 20:57

森本先生は歴史問題になるとおかしな方向に動きますが、国防については信頼できる方だと思います。たぶん森本先生は歴史については勉強不足だろうと思ひます。



Commented by **第一義@運国齋さん**

2008/12/09 21:19

花うさぎ様 こんばんわ。

「マオ」に関しては保守層では賛否両論であったと思ひますが、それほどの物なら是非読んでみたい一冊ですね。

2008/12/09 23:27

ところで是非翻訳を期待したい物は、venonaでしょう。これほどの重要資料は有りませんし、細部まで読んでみたいですね。

で、話題は飛びますが、venonaでスターリン、ルーズベルト、チャーチルの事を考えていた時の事です。ルーズベルトの死とチャーチルの大戦終了直後の選挙大敗はリンクしているのでは？と。

ルーズベルトの死去は毒殺だと言う説も有る程、(タイミング良く)大戦終了間際に死に、チャーチルもドイツ降伏後に選挙を行ったがチャーチルの保守党はまさかの惨敗、野党だった労働党が大勝利した...チャーチルはその後の大戦後の処理の会談には顔を出さなかった...そこで一番得をしたのは誰か？

ルーズベルトの死も、チャーチルの選挙大敗も、すべてはスターリンの指令によるスパイの暗躍があったのは間違いないでしょう。ましてやチャーチルの選挙大敗後の後継内閣は労働党でしたからね。

労働党とソ連共産党はジノヴィエフ事件などで繋がりが深いとされて居ましたから。



Commented by **RAM さん**

花うさぎ様、

このエントリーと外れますが、国籍法問題に関して考えたことを新しくアップしました。

TBさせていただきますので、ご意見を賜りたく、お願い致します。

2008/12/10 09:38



Commented by **花うさぎ さん**

To 故郷求めてさん おはようございます。

>国防については信頼できる方だと思います。たぶん森本先生は歴史については勉強不足だろうと思います。

確かに国防論議の時に違和感を感じないですね。でもこの歴史認識との整合性が？なんですよ(^^)。



Commented by **花うさぎ さん**

To yuukokushaさん おはようございます。

2008/12/10 09:40

>ルーズベルトの死とチャーチルの大戦終了直後の選挙大敗はリンクしているのでは？と。

へえ～、はじめて聞きました。

>労働党とソ連共産党はジノヴィエフ事件などで繋がりが深いとされて居ましたから。

う～ん、なるほど。この辺は勉強不足でした、参考になるご意見感謝します(--)



Commented by **花うさぎ さん**

To RAMさん

2008/12/10 09:41

>このエントリーと外れますが、国籍法問題に関して考えたことを新しくアップしました。

ありがとうございます。拝見に行きます。



Commented by **八目山人 さん**

マオを読んでそれがいかに素晴らしいものであったとしても、考えは変わりません。私が言いたいのは、マオが真実が書いてあるとか嘘だとか素晴らしいとかそんな事ではないのです。引用する人物として不適当ではないかと言う事です。

2008/12/10 11:25

マオで柳条湖事件はソ連の仕業だと書いている同じ人が、ワイルド・スワンで日本は満州を侵略して、残虐な事を一杯やったと書いている。

その場合、私がサヨクなら「マオに書いてあることをあなたは真実として引用したが、同じ著者が書いているワイルドスワンの中の、日本は満州を侵略してひどいことをしたと言うのも真実と認めるのですね。」と言います。

返答に困るのではないですか。片方を真実としてもう一方を嘘とすればダブルスタンダードとされてしまいます。



Commented by **花うさぎさん**  
To 八目山人さん

2008/12/10 13:33

>片方を真実としてもう一方を嘘とすればダブルスタンダードとされてしまいます。

日本は満州で酷いことをしたと言う認識の支那人が、「日本軍の仕業にみせかけたものだという」と記述したからこそ、おっ、本当か？となりませんか？。

マオは上下巻で1100ページ以上の大作ですが、張作霖爆殺についての記述は上巻301ページのたった三行の補足で書かただけです。

>「張作霖爆殺事件は、一般的には日本軍が実行したとされているが、ソ連情報機関の資料から最近明らかになったところによると、実際にはスターリンの命令に基づいてナウム・エイティンゴン(のちにトロツキー暗殺に関与した人物)が計画し、日本軍の仕業に見せかけたものだという」

つまりソ連情報機関の資料の存在を明らかにしたことに意味がある訳で、研究者が本邦未訳の「GRU帝国」を研究して成果が徐々に明らかになっている途上にあると考えています。



Commented by **花うさぎさん**  
プロジェクトJさん

2008/12/10 13:41

TBありがとうございました。面白うそうなので時間を見つけてゆっくり拝見します(^^)。



Commented by **八目山人さん**

2008/12/11 12:17

分かってもらえない様なので、くどいですがもう一回説明します。

私は柳条湖事件の真実について、如何こう言っているのではないのです。私は柳条湖事件は、ソ連がシナリオを書き、河本大作が実行したのではないかと思っています。

>日本は満州で酷いことをしたと言う認識の支那人が、「日本軍の仕業にみせかけたものだという」と記述したからこそ、おっ、本当か？となりませんか

こういう言い方は左翼と同じになってしまいます。

左翼と論争した時、家永三郎が戦前は皇国史観で物を書いていたが、戦後は自虐史観で教科書を書いている事に話が及ぶと、左翼は聖書を引いて、こんなガチガチの国粹主義者でも、真実に目覚め前非を悔いて改心して、本当のことを書くようになったのだと言いました。

もう一つたとえ話をしましょう。(これはたとえ話ですよ。)

吉田清治がある本で、「自分は日本兵として、朝鮮人女性を鉄砲で脅して、縛ってトラックに押し込み、慰安婦にするため二千人拉致した」と書いていたとします。ところが別の本では、「帝国陸軍は世界で一番立派な軍隊だった」と書いていたとします。其の時、こんなひどい事を書いている人でも、「日本軍は立派だった」と書いていると例に出すでしょうか。

何度も長々とすみません。



Commented by **花うさぎさん**  
To 八目山人さん

2008/12/11 16:01

ひとつ訂正です。旧ソ連の機密文書をGRU文書、それに基づいて書かれた本がGRU帝国です。GRU文書自体にはアクセスしにくい状況ということです。

マオはこのGRU文書の存在を明らかにしてくれたと言う点で、保守派の論客は注目したわけですが、マオにそう書いてあるから旧ソ連の仕業だと言い切っている人はいないと思いますよ。

ですから八目山人さんがユン・チアンは信用おけないと考えられるのは、貴方の意見とし

て尊重すると最初に書いたと思いますが。

貴方のご意見だと、旧ソ連の機密文書の存在も「信用おけない人物が書いたから引用しては駄目だ」となりますが、中西氏はじめ研究者はマオを分析しているのではなく、その先の一次資料[GRU](#)文書を分析しているをご理解下さい。

私自身もマオに書いているから旧ソ連の仕業だと決めつけてはいないと思いますが。